



小島 智恵
議員
(政風クラブ)

問 来年、わが町は開町120周年、2月に忠類村との合併10周年、3月には新庁舎の工事が完了予定である。これらの記念すべき節目をどのように捉え、記念事業等を予定しているのか、考えを伺う。

町長 合併10周年の事業内容は、平成28年2月6日に合併10周年記念式典を行い、合併功労者への表彰を行うほか、町民が親しみの持てるシンボルマークやご当地ナンバーの作製、町の花・木・鳥の制定、合併後10年間の歩みを収録したDVDの制作、町歌の再録音などを予定している。

開町120年の記念事業については、既存の各種イベントや事業に開町120年記念の冠をつけるなど町民の意識の高揚に努めていきたい。

新庁舎については、大規模な記念事業の考えはないが、オープニングセレモニーと町民の庁舎見学会の実施を考えている。

問 町民の声を取り入れた記念事業を
答 合併10周年記念事業の実施に向けて、準備を進めている



開基90年記念事業、交通安全キャンペーン「つながったデー」
8千人を超える町民が参加し、幕別から札内まで手と手がつながった

問 除排雪の苦情をなくすよう改善を
答 不便をかけないよう適切な除排雪に取り組んでいきたい



問 冬の除排雪は、町民の方が不便なく安全に暮らすための重要な事柄の一つである。しかし、除雪後の道路状況が悪いため苦情は絶えず、特に札内地区での苦情は多数あり早急な改善が求められる。近年、オペレーターの人材不足や後継者不足もあり、技術向上や後継

者育成等に取り組み、住民サービス向上のためさらなる努力が必要であり、以下について伺う。
(1) 苦情件数と内訳。
(2) 苦情が多い原因と対応。
(3) 除排雪の判断基準。
(4) 民間事業者への指導と今後の対策。

町長 (1) 昨年12月の大雪の際には、200件を超える苦情、本年2月と3月の大雪の際には、それぞれ100件を超える苦情が寄せられ、「除雪車両の到着が遅い」、「宅地前に雪を置いていった」という苦情が最も多かった。
(2) 苦情が多い原因は、降雪量が多かったことや雪質が湿雪であったことによる作業効率の低下、路上駐車による除雪作業の妨げなどによるものと考えており、対応としては、冬期間の道路パトロールの際に、該当車両が見受けられた場合には、チラシなどにより協力をお願いするなどの対策を行ってきたい。
(3) 新たな積雪がおおむね10センチ

メートル以上で、その後も降雪が予想される場合には除雪車の出動を検討し、気象庁の降雪予報、北海道や帯広市の出動状況などを総合的に勘案し、出動の指示を出している。排雪については、幹線道路の交差点の危険な箇所や交通渋滞が懸念される交差点については、交差点手前の路肩の拡幅排雪を適宜行っている。
(4) 毎年度、11月上旬に業者に対し説明会を行っているほか、除排雪作業終了後に、寄せられた意見や苦情などの情報を町と業者が共有し、作業の質の向上に努めている。

今後は、除雪機械技術講習会への積極的な参加を呼びかけるなど、担い手の育成や技術の向上に取り組んでいきたい。

再質問 (1) 町民参加の実行委員会は作らないのか(開町120年)。
(2) 除排雪の苦情が多いのは町の責任。業者への行政指導は適切か。
(3) 除排雪作業の人材、後継者確保に向けて現場の方との話し合いのうえ具体的対策を。

答 (1) 事業の予定がなく、作らない。
(2) 夏場の打合せや技術講習会情を通じて指導を行っていく。
(3) 雇用環境も含め、実態を調査した上で改善していきたい。